



【 箴言 】

- 3 : 11 わが子よ、主の懲らしめを拒むな。 その叱責を嫌うな。
- 3 : 12 父がいとしい子を叱るように、 主は愛する者を叱る。

2021年までのテーマ

- \* 2015年：「**仕事に取りかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ**」  
ハガイ書2：4
- \* 2016年：「**どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安であなたがたを満らし、聖霊の力によって希望にあふれさせてくださいますように。**」  
ローマ書15：13
- \* 2017年：「**…神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように祈ってください。**」  
コロサイ書4：3  
**「聖書に裏付けられた聖霊の導きを」**
- \* 2018年：「**みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となってははいけません**」ヤコブ書1：22  
**「生きて働く信仰」**
- \* 2019年：「**心を新たにされ続けよ**」(ロマ12：2)
- \* 2020年：「**神に愛された者**」(1ヨハネ4：7)
- \* 2021年：「**神の御住まいとしての教会**」(エペソ2：22)



希望の光バプテスト教会

2022年 2月 13日 (日)

礼拝メッセージノート

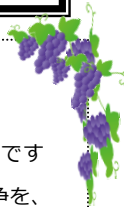
「 信仰の創始者・完成者であるイエスを 」

| 2022年度の目標を覚えて② ヘブル人への手紙12：1～2他 小野寺 望 牧師

【 ヘブル人への手紙 12章 】

- 1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまとわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競争を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。
- 2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをもとめせずに、十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。

\* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



## ◆はじめに ～2022年度のテーマ

### 1.2022年目標：「信仰の創始者・完成者であるイエスを」

(ヘブル12: 1-2)

- (1) タイムリーな要素：この世全体が、未曾有の試練に直撃している。  
教会、そして信者一人ひとりが変革を求められている。
- (2) 試練に打ち勝つために不可欠な要素
  - ①信仰の先人たちの歩みに目を止めよ。適用：田島師の召天
  - ②その最たるお方こそ、信仰の創始者であり、完成者であるイエスである。

## ◆メッセージのアウトライン紹介とゴール

### | 2022年の当教会の働きを覚えて

\*このメッセージは、2022年度の教会テーマのためのものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

## I ヘブル人への手紙の前提

### 1.執筆背景および内容

- (1) ユダヤ教への回帰を考えていた第二世代のメシアニック・ジューたちを励ますための手紙。
- (2) 10: 19から13: 25は前半の教理部分の適用である。
- (3) 手紙の読者はまだ背教していないが、その可能性があった。



### 2.彼らに必要な要素

- (1) 励まし：信仰の手本を示した英雄たちのリスト
- (2) 訓戒：信仰者の訓練：①試練の意味 ②どのように打ち勝つか

## II 信仰の英雄を見上げよ

### 1.「ヘブル人への手紙」の読者

- (1) 苦難の中にいる者への励まし
  - ①旧約時代の信仰の英雄たちは、それぞれ欠点を持ちながらも、信仰を発揮した。  
アベル、エノク、ノア、アブラハム、サラ、族長たち、イサク、ヤコブ、ヨセフ、  
モーセ、ラハブ、その他多くの聖徒、預言者たち・・・(11: 4~32)
- (2) 彼らはこの世からは評価されず、迫害された。
  - ①神の評価は、この世は彼らに相応しくなかったということである。

### 2.著者が彼らと共有した信仰理解

- (1) 彼ら(信仰の英雄たち)は終末論的信仰を持っていた。
- (2) 彼らは全うされなかった(完全な状態に到達しなかった)
  - ①完全な罪の赦しを経験することはなかった。 ②罪は一時的に覆われただけ

- (3) 天において復活のからだを受けることなく、携挙、再臨の時に復活は成就する。
  - ①旧約時代の聖徒は、新約時代の聖徒のような特権を持たなかった。
- (4) 当然、神学的な情報量も限られていたが、信仰によって忍耐した。

## 3.ユダヤ教へ回帰する誘惑

- (1) 旧約時代の教えをベースに、パリサイ派、サドカイ派が各々の教理神学を積み上げた教え。イエス時代は世界の大きな影響を与えた教え。
- (2) 読者は誤った教理(天使、モーセ、レビ的祭司制度の3本柱)と迫害を前に、一時的にでもユダヤ教へ回帰することを考えた。ある人々の所では、既に背教によって集いから離れた・・・これは信仰の後退を表すユダヤ人特有の現象である。
- (3) 苦難を忍耐し、誘惑に打ち勝て
  - ①これは「罪との戦い」(4節)である。罪人との戦いであり、自らの罪との戦いともいえる。
  - ②チャレンジ：彼らの内には「血を流すまで」、つまり死に至るまでの忍耐を見出すことはできない。  
\*イエスは(また、旧約聖書の英雄たち)死に至るまで信仰の忍耐を発揮した。  
その最たるお方はイエスである。手本であり、パイオニアであり完成者。

## III 苦難の意味

### 1.苦難は裁きでなく、訓練である。

- ①箴言3: 11~12 \*父の叱責(言い換えれば、ぶどうの刈り込み)。  
\*それは量においても内容においても完全である。
- ②その時は喜ばしくなく、悲しく思っても、後に平安な義の実を結ぶ。  
\*懲らしめ「パイディア」は、警告や矯正、処罰を含むが、主要な意味は訓練。  
\*悪行に対する罰でなく、苦難を通した訓練である。

### 2.苦難を克服するために

- ①雲のように取り巻く人々：競技のたとえから、3節は罪との格闘へ  
\*彼らは既に信仰という競技を忍耐して走り終えた証し人である。
- ②イエスは目の前に置かれた喜び(ゴール)を見上げ続けた。  
\*信仰の英雄たちを、そしてイエスを見上げることが、絶望に打ち勝つ秘訣。  
\*イエスこそ信仰の創始者であり、完成者である。

## ◆まとめ：2022年の当教会の働きを覚えて

- ①教会をとりまく困難：コロナ禍、非聖書的価値観(例：カナダにおける騒動)
- ②信仰の先人を見上げ：グレースバプテスト神学校の田島師(2/7に召天)  
見上げるべき最たるお方は、信仰の創始者であり完成者であるイエス。
- ③今現在の、私の信仰の馳せ場の歩みが、他者の励み・手本となるように。